情報メディア実験A 物理エンジンを使った アプリケーション開発

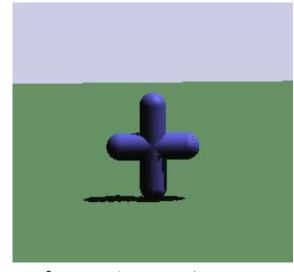
筑波大学情報学群 情報メディア創成学類 **藤澤誠**

複合形状

- 複数の単純な形状をつなげることで複雑な形状ができないのか?
 - btCompoundShape 複数の形状(プリミティブ)を組み合わせて, 新しい形状を作る



プリミティブ間の位置関係は固定なので,**動きのあるオブジェクト**は作れない!



カプセル形状2つの組み合わせでできる形状

Constraint

- プリミティブ間で動きのある複合形状はできないのか?
 例) ヒンジで壁とつながったドア,関節でつながった腕,車軸で車体とつながったタイヤ, etc.
 - ⇒ 剛体間の動きに一定の**制約**をかければよい



拘束条件 (Constraint)

Constraint-based method

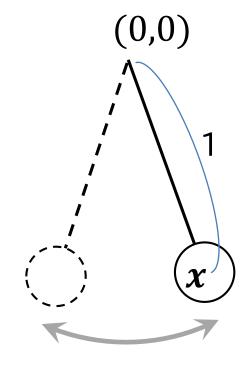
■ 拘束条件に合った動きを求めるために, 拘束条件を**数式化**

拘束条件:
$$C(x) = 0$$

例)振り子(原点中心,長さ1)

$$C(x) = |x| - 1 = 0$$

$$C(x) = x \cdot x - 1 = 0$$



Constraint-based method

■ 拘束条件を満たすためにかけるべき力 f_c

$$\boldsymbol{f}_c = \boldsymbol{J}^T \boldsymbol{\lambda}$$

拘束条件Cの空間微分方向にλ倍(スカラー倍)

(導出は実験Webページ参照)

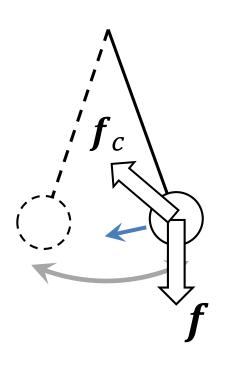
単位時間あたりの仕事量(力fと速度vをかけたもの) を考えて式変形

$$Jv = 0$$

拘束方程式

(この式を満たす f_c を求めて使うのがConstraint-based method)

Jは横ベクトル、fやvは縦ベクトルということに注意しよう



Soft Constraint

- 拘束方程式を満たす力 f_c は必ず求まるのか?
 - 答え) 多くのオブジェクトがつながっていると解が求まらないことがある (or 計算時間がかかる)
- ペナルティ法と同じく多少のずれは許してしまってはどうか?
 - ⇒ Soft Constraint

$$Jv + \frac{\beta}{\Delta t}C(x) + \gamma\lambda = 0$$

$$\overline{ERP} \quad \overline{CFM}$$

Soft Constraint

$$Jv + \frac{\beta}{\Delta t}C(x) + \gamma\lambda = 0$$

$$\overline{\text{ERP}} \quad \overline{\text{CFM}}$$

- CFM(Constraint Force Mixing)
 柔らかい拘束を実現するための項
 拘束を満たすための力の大きさλに係数をかけることでずれを許容する
- ERP(Error Reduction Parameter)CFMでできたずれを修正する項

Constraintの設定方法

- bulletでのConstraint設定
 - btRigidBodyのようにbtDynamicWorldにbt*Constraintを 追加すればよい

```
btHingeConstraint *c = new btHingeConstraint(body1,body2,...);
g_dynamicsworld->addConstraint(c, true);
```

■ CleanBullet関数での破棄も忘れずに

world中のConstraint数を取得

```
for(int i = g_dynamicsworld->getNumConstraints()-1; i>=0;i--){
btTypedConstraint* constraint = g_dynamicsworld->getConstraint(i);
g_dynamicsworld->removeConstraint(constraint);
delete constraint;
Constraintオブジェクトを取得

Constraintをワールドから削除
```

Constraintの設定方法

- bulletでのConstraint設定
 - Soft Constraintの設定方法

```
btHingeConstraint *c = new btHingeConstraint(body1,body2,...);
c->setParam(BT_CONSTRAINT_ERP, 0.5);
c->setParam(BT_CONSTRAINT_CFM, 0.5);
```

*基本的にはbullet側で適切な値が設定されるのでSoft Constraint を使いたくないなどの特殊なケース以外は必要ない

Point2Point Constraint

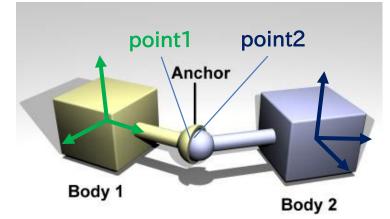
2つの物体を1点でつなぐ制約(位置固定で回転は自由)

btPoint2PointConstraint *c = new btPoint2PointConstraint(body1,body2,point1,point2);
g_dynamicsworld->addConstraint(c, true);

point1とpoint2は同じ位置を示しているが、それぞれのbtRigidBodyから見た相対座標値(ローカル座標)なので値は異なることに注意!

1つの物体を空間上に固定する場合

btPoint2PointConstraint *c
= new btPoint2PointConstraint(body1,point1);



https://www.ode-wiki.org/wiki/index.php?title=Manual

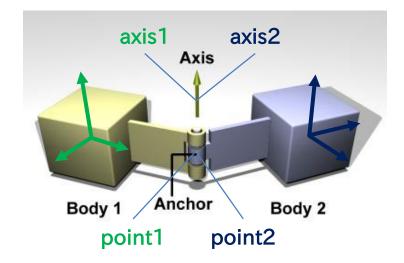
Hinge Constraint

1軸の回転のみを許す制約(ドアの蝶番,車のタイヤなど)

• point1,point2,axis1,axis2はそれぞれのbtRigidBodyのローカル座標系での位置と

方向. 特に方向は初期配置で決まるので注意

enableAngularMotorメンバ関数で一定速度 の回転を加えることも可能

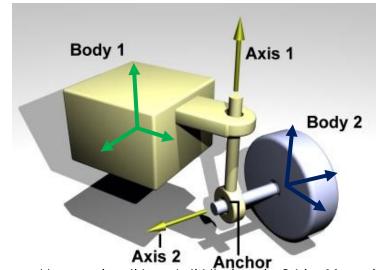


Hinge2 Constraint

直交した2軸の回転が可能な制約(車の前輪など)

```
btHinge2Constraint *c = new btHinge2Constraint(body1,body2,
                                                anchor,
                                                axis1,axis2);
g dynamicsworld->addConstraint(c, true);
```

- anchor,axis1,axis2はHingeと違ってグローバル座標(ワールド座標)であることに注意!
- axis1とaxis2は直交するように設定



https://www.ode-wiki.org/wiki/index.php?title=Manual

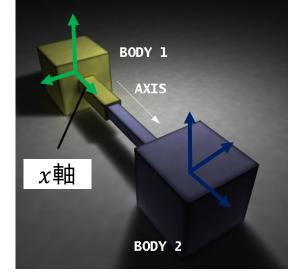
Slider Constraint

設定した1方向しか動けない制約(カーテンレールなど)

• frame1とframe2はそれぞれbody1,body2の何も力がかかっていない状態での担対位署 (次熱/latTraneforms)

の相対位置/姿勢(btTransform)

 スライダーの移動方向はref1で指定したオブジェクトの x軸方向 (ref1がtrueでbody1,falseでbody2が基準になる)



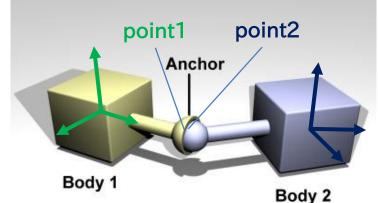
Cone Twist Constraint

2つの物体を1点でつなぐ制約(位置固定で回転範囲設定)

- Point2Pointと基本的には同じだけど,回転角に制限を掛けられるので, キャラクターの間接などに用いられる(ragdollジョイント)
- frame1とframe2はそれぞれbody1,body2の相対位置/姿勢 (btTransform)

回転範囲の設定

C->setLimit(ang_z, ang_y, ang_x);



Generic 6 DOF Constraint

x,y,z軸方向の平行移動と回転に対する制約を自由に設定

- 引数はSlider Constraintと同じなのでそちらを参照
- ここまで説明したConstraintはすべてこれで再現可能

平行移動制約の設定

```
C->setLinearLowerLimit(btVector3(x1,y1,z1));
C->setLinearUpperLimit(btVector3(x2,y2,z2));
```

回転制約の設定

```
C->setAngularLowerLimit(btVector3(ang_x1,ang_y1,ang_z1));
C->setAngularUpperLimit(btVector3(ang_x2,ang_y2,ang_z2));
```

情報メディア実験A (GC41103) 15

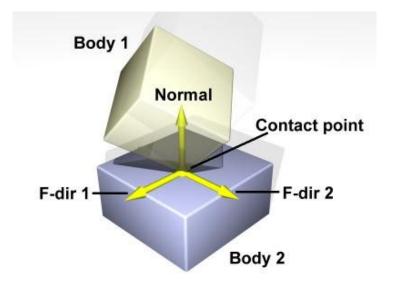
Contact Constraint

通常の衝突を処理するための制約

btContactConstraint *c = new btContactConstraint(manifold,body1,body2);

bullet側が**自動的に生成**してくれるので、わざわざ指定する必要なし (bulletがConstraintを使って衝突応答を処理しているということだけ理解していればOK*)

*反発とか摩擦を含むcontact constraintについては, GDC2009での解説スライド https://ubm-twvideo01.s3.amazonaws.com/o1/vault/gdc09/slides/04-GDC09_Catto_Erin_Solver.pdf などを見ると分かりやすい(p36~)

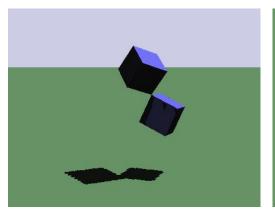


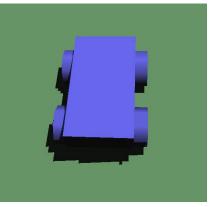
https://www.ode-wiki.org/wiki/index.php?title=Manual

16

BulletでのConstraint

ここからは各自の環境で 実際に作業 実験ページの「4. 剛体間リンク」の 練習問題を実際にやってみよう (余裕のある人はoption課題もやってみよう!)





情報メディア実験A (GC41103) **1**